

会 告

第4回石原研究奨励金候補研究募集について

鉄鋼に関する研究の振興とその実際化を図るため、本会では故石原米太郎氏の寄贈に係る石原研究資金によつて、「石原研究奨励金」の制度を設けましたが、今回はつぎの要項により第4回の候補研究を募集します。

1. 交 付 対 象 鉄鋼の学術および技術に関する研究に従事する個人または団体（研究者は原則として本会会員とする。ただし共同研究の場合本会会員以外の者が参加することを妨げない。）
2. 研 究 内 容
 - イ. 研究途上にあるもの、またはこれから始めるものでもよい。（本奨励金を受けることによつて開始するものを含む）
 - ロ. 基礎研究、応用研究のいずれでもよい。
 - ハ. 個人研究、共同研究（他の分野との共同研究を含む）のどちらでもよい。
3. 交 付 金 額 総額70万円以内
4. 選 定 方 法 本会内に設けた審査委員会で選考する。
5. 推 薦 者 候補研究の推薦者は本会役員（理事、監事、前会長、支部長、評議員）とする。研究者本人の直接申込みを受けない。
6. 推 薦 書 記 載 項 目 1. 推薦者氏名, 2. 研究題目, 3. 研究者住所, 氏名, 職業, 年令, 4. 推薦理由, 5. 研究費の現状, 6. この奨励金の希望金額, 7. 希望金額の内訳, 8. 研究計画の概要, 9. 研究者の主な実績, 10. 研究者の略歴
7. 推 薦 締 切 昭和 38 年 9 月 30 日
8. 推 薦 書 送 付 先 東京都中央区宝町2-4 第2ぬり彦ビル 日本鉄鋼協会
9. 報 告 本奨励金を受けたものは、年2回の中間報告その他随時必要な報告、結果の報告を提出しなければならない。結果の報告は原則として公表するものとする。

会員名簿発行についてのお願い

(住所、勤務先、会員資格変更などのご通知および予約申込について)

本年は新たな会員名簿を発行する年に当たりますので、来る10月1日現在、11月末刊行を目途として目下その編集準備を進めております。会員各位の学位の取得、住所、勤務先、会員資格の異動などできるだけ正確を期したいと思いますので、会員各位におかれましては8月31日までに別添ハガキにご記入のうえご回答下さるよう願います。

(備考: 前名簿は昭和36年10月1日現在で発行いたしました。)

なお名簿購入ご希望の方は同ハガキに要否いずれかを○でかこんでお申込み下さい。頒価はつぎの通りであります。

会員……………300円(送料とも)

会員外……………600円(送料とも)

名 簿 目 次

会員 (名誉, 賛助, 維持, 正, 学, 外国)

内外関連団体 (学協会, 研究所, 試験所, 大学)

日本鉄鋼協会定款および諸規程, 支部規則
役員, 委員, 表彰者.

(A5判 400頁)

「鉄と鋼」臨時増刊号

製鉄部会報告書“製鉄技術の進歩”発行について

本会では昭和35年より鉄鋼技術共同研究会の研究部会報告書を会誌「鉄と鋼」臨時増刊号として刊行しておりますが、本年より日本鉄鋼協会共同研究会研究部会報告書として刊行されることとなり、現在8月下旬に製鉄部会報告書を「鉄と鋼」第49年第9号として刊行する予定であります。

本報告書はその後の研究報告（第7回～第18回製鉄部会）をもとにして編集したもので、緒言、鉍石受入・処理設備・焼結設備の充実および改善、焼結鉍製造方法の進歩、新設・改修高炉および付属設備、高炉操業技術の進歩、部会におけるとりきめ事項の各章からなり、わが国の製鉄技術の現状を示す極めて貴重な資料であります。本会会員には無償配付いたしますが、会員外の方々の参考になることも多いと思われまますので、ご希望の方は鉄鋼協会宛来る7月20日までに分譲申込みされるようご勧誘下さい。（定価500円、送料30円：申込の際費用添付のこと）

申込先 東京都中央区宝町2-4 第二ぬり彦ビル 社団法人 日本鉄鋼協会

製鉄部会報告書別冊発行について

上記「製鉄部会報告書」は会員全員に無償で配付されますが、同報告書に関連して、昭和37年10月1日現在の各製鉄所における製鉄設備の全般に亘り、工場配置図、主要設備図面、設備諸元表、フローシート、稼働状況一覧表を内容とし、また部会で検討決定した高炉作業月報様式および記載方法を付記した資料篇を製鉄部会で編集いたしました。これは我が国における製鉄設備の現状が把握できる極めて貴重な資料が収録されておりますので、「製鉄部会報告書別冊」として刊行、希望者に有償頒布することとなりました。部数に限りがありますのでご希望の方は下記によりお申込み下さい。

記

頒 価 1部 900円（予定） B5版約 270 ページ
 申込期限 7月20日
 申込方法 「製鉄別冊」と明記のうえ、代金を添えて現金書留でお申込み下さい。
 申込先 東京都中央区宝町2～4 第二ぬり彦ビル 日本鉄鋼協会

東北支部講演会および見学会開催案内

本会東北支部では、日本金属学会東北支部、日本鋳物協会東北支部、日本鋳業会東北支部共催東北鉄鋼協議会後援のもとに下記の通り講演会および見学会を開催いたします。会員多数のご参加を希望します。

記

1. 期 日 昭和38年7月10日(水)～11日(木)
 2. 会 場 八戸市市民会館
 3. 申込先および方法 仙台市長町字福聚院前 東北大学選鉍製錬研究所内
 日本鉄鋼協会東北支部
 (ハガキにより氏名、勤務先、職名、ご記入の上、上記宛お申込下さい)
 4. 申込締切日 7月5日(金)
 注) 聴講無料、ただし講演プリント代は実費および懇親会費は当日受付で申受けます。

プ ロ グ ラ ム

講演会 (7月10日(水) 19:30～17:00)

題 目	講 演 者
1) 淋代砂鉄の性状について	日本高周波鋼業八戸工場 村上 了 治
2) 18000KVA 密閉式電気製鉄炉の操業について	日曹製鋼八戸工場製造課 大津 芳 雄
3) 砂鉄鉄の鑄物への利用	東北大学金属材料研究所 助教授 丸山 益 輝
4) 最近の製鋼法について	東北大学選鉍製錬研究所 教 授 三本木 貢 治
5) 最近の圧延線引について	東北大学金属材料研究所 教 授 田 中 英八郎

懇親会 (7月10日 18:00～20:00)

会 場 グリル松和 (八戸市三日町21)
 会 費 1,000 円

見学会 (7月11日(木) 8:00～12:00)

日本高周波鋼業八戸工場 → 日曹製鋼八戸工場 → 東北砂鉄鋼業八戸製鋼所 → 東新鋼業八戸工場

関西支部昭和 38 年度夏期第 1 回講演会案内

本会関西支部では金属学会支部と共催で下記のごとく講習会を開催いたします。

記

- 会 期** 昭和 38 年 7 月 25 日(木), 26 日(金)
会 場 大阪府立大手前会館 (大阪市東区京橋前の町)
 道順——京阪電車天満橋駅より徒歩約 3 分。市電京阪東口下車すぐ。
受講者定員 100 名 (先着順)
会 費 2,000 円 (テキスト代を含む) 前納のこと。
申込締切日 7 月 13 日 (土)

プ ロ グ ラ ム

- 第 1 日 7 月 25 日 (木)**
- | 講演開始時間 | 題 目 | 講 演 者 |
|----------|--------------|--------------------|
| 1) 9:30 | 最近の粉体科学とその応用 | 京都大学助教授 理博 高 田 利 夫 |
| 2) 13:00 | 最近の磁性材料 | 住友特殊金属(株) 角 屋 敏 彦 |
- 第 2 日 7 月 26 日 (金)**
- | | | |
|----------|-------------------|---------------------|
| 3) 9:30 | 合金の強化機構と最近の非鉄金属材料 | 京都大学教授 工博 村 上 陽太郎 |
| 4) 13:00 | 金属の塑性変形 | 大阪府立大学教授 工博 吉 岡 正 三 |
- 申 込 先** 京都市左京区吉田本町 (京都大学工学部冶金学教室内)
 日本鉄鋼協会関西支部 (振替口座京都 726 番)

申込書形式 (下記を見本にしてこのような形式でお申込下さい)

氏 名	維持, 賛, 正, 学
会社名(勤務先)	
同 上 所在地	
自宅現住所 (通 信 先)	
送 金 方 法	現金書留, 為替, 振替

注意: 1 人 1 枚に限る。

第7回材料試験連合講演会講演募集要項

- 共 催** 日本学術会議材料試験研究連絡委員会，日本鉄鋼協会ほか 17 学協会
(幹事学会：高分子学会，土木学会，日本セメント技術協会，日本非破壊検査協会，日本材料学会)
- 日 時** 昭和 38 年 10 月 10 日 (木)，11 日 (金) の両日
- 会 場** 日 本 学 術 会 議
- 講 演 申 込**
1. 参加学会所属の会員は当該学会をつうじて申し込み，参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込むこと。
 2. 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。
なお研究内容は材料の諸物性，諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する研究を包含する。
 3. 講演時間は約 20 分 (討論を含む) の予定。
 4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙は B 5 版とし，次の事項を必ず記載すること。
 - a) 講演題目 b) 梗概約 200 字 c) 講演部門名 d) 講演ならびに連名者の各氏名，勤務先，通信先，学会員資格，年齢 (連名の場合には登壇者に○印をつけること)。
 - e) 講演題目，氏名，勤務先には英文を付記すること。 f) スライド使用の有無 (大きさは 35mm)
 - g) 欧文論文集 (付記参照) へ投稿希望の有無
- 注：第Ⅰ部 金属材料，第Ⅱ部 非金属材料(有機物，無機物)，第Ⅲ部一般(材料試験機その他)
- 申 込 締 切** 昭和 38 年 7 月 15 日 (月)
- 講 演 前 刷** 聴講者のテキストとし，あわせて講演時間の短縮，掛図などの節約のため，講演者全部の講演前刷を作るので，講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ (参加学会会員以外の方は申し込んだ幹事学会へ) 提出すること。
- a) 講演前刷原稿提出期日 8 月 15 日 (木)
 - b) 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内 (図表，写真を含めて邦文で約 2,600 字) に明瞭に墨書しなるべく余白を避けるよう留意のこと。(講演前刷はオフセットになるので写真も入れることが出来る)
 - c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り，所定用紙以外の用紙に書いた原稿は受付ない。
- (付記) 発表論文は Proceedings of the Seventh Japan Congress on Testing Materials にのせ，諸外国にも頒布の予定である。
本論文集に登載される論文は今回発表されたもので，欧文で未発表のものに限る。投稿希望者には別に送られる規定原稿用紙に執筆し，9 月 28 日 (土) までにあらかじめ提出すること。
当日以降の提出原稿は受理しない。また，不備な原稿は返却することがある。

第 14 回塑性加工連合講演会講演原稿募集

(日本鉄鋼協会・高分子学会・精機学会・日本機械学会・日本金属学会・日本塑性加工学会共催)

- 開 催 日** 11 月 20, 21, 22 日の 3 日間の予定
- 会 場** 全電通労働会館ホールの予定 (東京都千代田区神田駿河台 3—6)
- 申 込 締 切** 8 月 25 日 (月) 14 時必着
- 申 込 先** 所属学会あて
- 申 込 方 法** ハガキを利用，「第14回塑性加工講演会講演申込」と題記し，(1) 題目，(2) 50 字以内の概要，(3) 所要時間(20分以内)，(4) スライドの有無，(5) 氏名，所属学協会名，会員資格 (連名の場合は講演者に*印)，(6) 勤務先，(7) 通信先等を記入して，上記申込先へ
- 前 刷 原 稿** 原稿は 600 字詰原稿用紙に図や表をはりつけて 8 枚以内に墨書きする。前刷は原稿をそのまま縮尺してオフセット印刷にする。詳細執筆要領，原稿用紙は日本機械学会から後日講演申込者あて送ります。原稿提出期限：10 月 5 日 (土)
- 附 記** 11 月 19 日 (火) には日本塑性加工学会主催のシンポジウム開催の予定